

## 今年度から学習指導要領が新しくなります

先日、水泳の池江璃花子さんがオリンピック代表に決まりました。白血病を乗り越えての快挙に、日本中、世界中が感動しました。その池江さんが、オリンピック代表決定後のコメントで、「努力は必ず報われるんだなって思いました。」とお話しされていました。池江さんは病気を公表し、入院生活を送っている時も、SNSなどで闘病生活の様子などを発信し、多くの人に感動を与えていました。池江さんのように、私たちも目標を持ち、粘り強く頑張っていければと思います。

さて、小学校では昨年度から新学習指導要領が全面実施になりました。1年生の皆さんは小学校で既に通知表の評価は3観点になっていたと思いますが、中学校も今年度から評価の観点が変わります。詳細は後から出されますが、まずは大まかな点をお知らせします。

### ◎ 改訂に込められた願い・・・（文部科学省「学習指導要領ウェブサイト」より）

これからの社会が、どんなに変化して予測困難になっても、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、判断し、それぞれに思い描く幸せを実現してほしい。そして、明るい未来を、共に創っていきたい。新しい「学習指導要領」には、そうした願いが込められています。

#### ★ 「学習指導要領」とは？

全国どこの学校でも一定の教育水準が保てるよう、文部科学省が定めている教育課程（カリキュラム）の基準です。およそ10年に一度改訂され、これを基に子供たちの教科書や時間割が作られます。

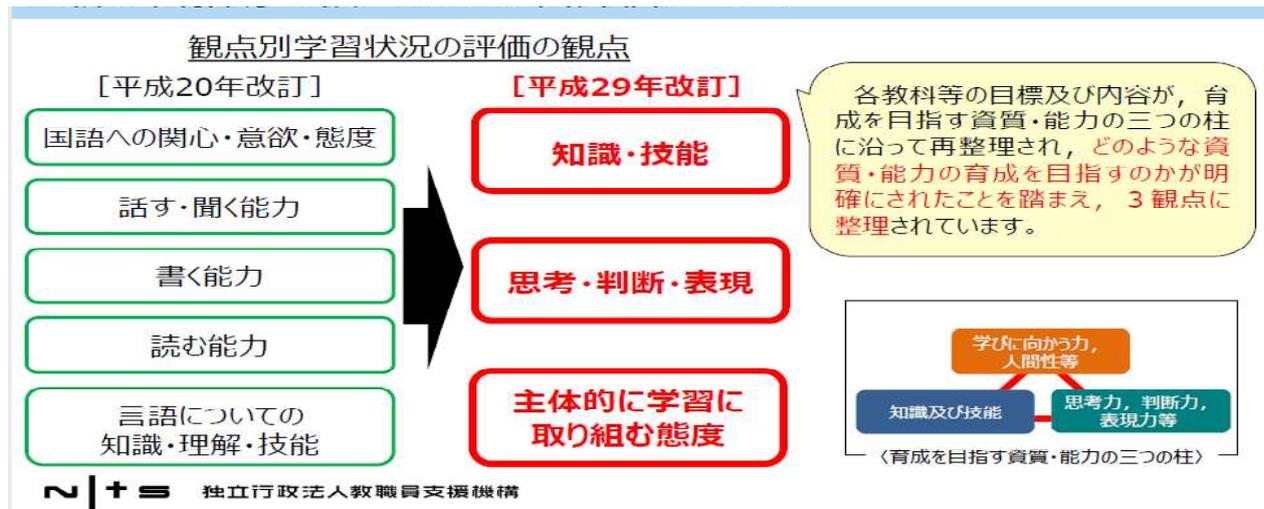


新しい学習指導要領は、育成すべき資質・能力の3つの柱である「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」の養成を目的としたものです。

文部科学省は、この3つの柱が、児童生徒の確かな学力、豊かな心、健やかな体の育成を支えると考えています。

各学校では、学校教育全体および各教科等における指導等において、3つの柱のバランスある育成を通じ、児童生徒の「生きる力」の育成に努めることが求められます。

☆ 新学習指導要領では、学習評価が3観点になります。



(今年度からの3観点)

**知識・技能**

各教科等における学習の過程を通じた知識及び技能の習得状況について評価を行うとともに、それらを既有的知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活の場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしているかを評価します。

**思考・判断・表現**

各教科等の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けているかどうかを評価します。

**主体的に学習に取り組む態度**

知識および技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身につけたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど学習を調整しながら、学ぼうとしているかどうかという意志的な側面を評価します。

◎タブレットを使った学習が始まりました。

子供たち一人一人に個別最適化され、創造性を育む教育、ICT環境の実現に向けて、令和元年に文部科学大臣を本部長とする「GIGA スクール実現推進本部」が設置されました。そして様々な試みを経て、今年度から生徒一人一人に1台ずつタブレットを配付し、早速授業で使用できるようになりました。

**「GIGA スクール構想」**

- ・ 1人1台端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備することで、特別な支援を必要とする子どもを含め、多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育ICT環境を実現する。
- ・ これまでの我が国の教育実践と最先端のICTのベストミックスを図ることにより、教師・児童生徒の力を最大限に引き出す。

文部科学省ウェブサイトより



※「総合的な学習の時間」に「宇都宮学」の調べ学習をしています。(2年1組)

まだまだ始まったばかりのタブレット学習ですが、今後様々な学習に活用していきます。

